



幼稚園

正 臣

君か代は千代とはやくも歌ふなり

十とせに足らぬ幼児にして

おひたくむすまのよゆかしわかつた氣の

庭のをしへに靡きあひつゝ

はゝならぬはゝのなさけにまなひくさ

つむともしらすつめるその哉

幼稚園

美 静

おのつから遊びなからにれさせて

をしふる道のたのもしきかな

今年の春某幼稚園の祝宴

につらなりて女教師の心

つくしを思ひやりて

千 秋

こゝろ遊ぶをしへの庭のはゝこ草

こてふの爲に身をやつむらひ

海のあなた

佐々木信綱

夕雲浪をやとて

紅の海の上を

歸りくる白帆一つ

なつかし海のおなた

あなたにそ我背います